

令和4年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口 俊憲
講座名	経営工学・人間工学リモートセミナー 現場改善に活用できる“経営工学と人間工学”の本質
実施日時	①令和4年7月20日（水） 17：30～19：30
	②令和4年7月22日（金） 17：30～19：30
	③令和4年7月27日（水） 17：30～19：30
	④令和4年7月29日（金） 17：30～19：30
	⑤令和4年8月 3日（水） 17：30～19：30
	⑥令和4年8月 5日（金） 17：30～19：30（計12時間）
募集定員	6人（最大20名程度まで）
募集対象	対象職種：現場改善、機器/製品/サービスの開発に興味のある方
	受講に必要なレベル：不問
注 意 点	<p>本講座はリモートのみで開催し、「中小企業のための生産改善・革新セミナー」を担当する講師が実施します。受講生の受講状況を確認するため、講師からの指示がない限り基本的に受講者のカメラはオンにさせていただきます。</p> <p>1回2時間6回の実施ですが、各回ごとに内容が完結しているため修了書にこだわらなければ興味のある内容だけを聴講することも可能です。</p>
講 座 内 容	<p>「経営工学」や「人間工学」はあまり馴染みのない分野かもしれませんが、現場改善・機器/サービス開発において役立つ実践的な分野です。</p> <p>経営工学は自動車の大量生産を確立に寄与したテイラーが提唱した科学的管理法に端を発していて、生産の4要素（人、材料、機械、方法）につながる「人の領域（人間工学など）」、「材料・部品・製造の領域（生産管理、品質管理など）」、「装置の領域（機械工学、信頼性工学など）」、「情報に関する領域（情報工学、システム工学）」などの分野があります。また、経営工学は最近話題となっているデータサイエンスを20世紀初頭から製造現場で応用・実践してきており、今まさに社会で求められているスキルの一つと考えられます。</p> <p>本講座では、教科書に書かれている内容を現場でどう活用するかに焦点をあて、経営工学分野の中で下記に示す6つの「履修項目」に関する概要を紹介いたします。現場で活用するためには、経営工学が目指す科学的管理、すなわち、データに基づき「観察し・仮説を立て・検証する」を継続させることが必要となるため、それに焦点を当てた取り組んだ事例についても紹介いたします。</p>
目 標	現場で活用できる経営工学/人間工学の考え方の基盤を理解し、これを発展させることで現場改善や機器/製品/サービス開発をスムーズに行えるようになる。

履 修 項 目	①経営工学の概要	(2時間)	
	②生産管理	(2時間)	
	③品質管理／データサイエンス	(2時間)	
	④人間工学	(2時間)	
	⑤安全工学／保全	(2時間)	
	⑥情報共有 (ICT・IoT 活用)	(2時間)	
使用装置 ソフト・ 図書等	特になし		
受 講 費 用	受 講 料 : 6,000 円 (12 時間コース)		
	自己負担 : 円 (テキスト : 円・材料費 : 円)		
講座費用	報 償 費 円	印 刷 製 本 費 円	材 料 費 円
	費 用 弁 償 円	消 耗 品 費 円	通 信 運 搬 費 円
	普 通 旅 費 円	使 用 賃 借 料 円	
そ の 他	<p>○ 単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「人間工学」、「産業情報」などに関する講義・実習の受講を一部免除する。 <p>○ 講師と講座について</p> <p>本セミナーの担当講師は大学・大学院で経営工学、特にその中でも人間工学を専攻していました。本校赴任後約 20 年、生産など様々な現場の改善に取り組んできています。また、このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などに基づき数年に一度大きな変更を加えながら 10 年以上開講し、延べ 700 名を超える方が受講しています。</p> <p>○ 新型コロナ対策について</p> <p>対面ではなく、リモートで実施いたします。</p>		